



農林業の振興を目指して —保野田トンネル貫通式—



関係者らによる鏡割りで貫通を祝いました

七月二十九日、日吉町保野田地区で「緑資源機構近畿北陸整備局保野田トンネル」の貫通式が行われ、佐々木市長らが出席し、トンネルの貫通を祝うとともに、今後の工事の無事を祈りました。

トンネルは園部町船岡から日吉町胡麻を結ぶ農用道「園部日吉線」に整備されており、全長一七六誠、車道幅約六誠の片側一車線道路になります。平成十九年二月末の完成に向けて路面の舗装や壁面、天井の補強工事などが進められる予定です。

七月は「社会を明るくする運動」の強調月間です。これは、全ての国民が力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする運動です。
七月三日、南丹市内の各地で保護司会や民生児童委員協議会などからおよそ百十人が参加し「社会を明るくする運動」の街頭啓発活動が行われました。このうち、JR園部駅周辺で行われた街頭啓発では、通勤・通学する市民にパンフレットと花の種を配り、犯罪や非行のない「明るい社会」づくりを呼びかけました。

非行や犯罪のない明るい社会を築く —社会を明るくする運動—



園部町で行われた街頭啓発活動



開業から3年の経過を説明する佐々谷駅長

道の駅 開業から三年 —道の駅「京都新光悦村」三周年記念式典—

道の駅「京都新光悦村」の三周年記念イベントが七月十五日から三日間開催されました。
開業から多くの方に利用され、主に京阪神からの利用者が多く、地元の野菜や加工品が人気となっています。
イベント期間中は、人気の朝市や抽選会なども行われ、大勢の人で賑わいました。
道の駅駅長の佐々谷美さんは、「今後も地元の特産品や野菜などの新鮮な食材を提供していきたい」と話されました。

七月二十日、南丹市美山文化ホールで「美山の文化財を守る会」総会および研修会が開催され、およそ三十人の会員が出席しました。
総会では、大柵俊二会長が「美山の歴史と伝統を伝えていく文化財を守り、後世に伝えていくため、私たちも研鑽しながら、多くの知識を身につけていって欲しい」と会員相互の協力を呼びかけました。また、会の発展と文化財に対する会員の知識の向上を目指した取り組みが決められました。

歴史と伝統ある文化財を守る —美山の文化財を守る会総会—



会員の知識の向上を目指した研修会